

2015. 5. 25



NPOフォーラム・だより No.66

NPO法人安房文化遺産フォーラム

代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館 TEL&FAX:0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト <http://bunka-isan.awa.jp>

会員・寄付募集中！ ⇒ 郵便口座 00260-1-97307 名義:NPO法人安房文化遺産フォーラム
年会費=A会員 2,000 円(総会出席権あり)/B会員:個人 1,000 円(ニュースのみ送付)・法人 10,000 円

NPO法人安房文化遺産フォーラム(A会員)総会

6月28日(日)13:00～ 館山市立館山地区公民館にて、A会員(正会員)による総会を開催します。A会員は年会費 2,000 円、B会員は年会費 1,000 円(法人会員1万円)となります。会費未納者には郵便振替伝票を同封しますので、ご入金をお願いいたします。総会参加者は受付でのお支払いも可能です。

第19回戦争遺跡保存全国シンポジウム 千葉県館山大会

「戦後 70 年」にあたる本年9月5～7日(土日月)、戦跡や文化財を活かしたまちづくり「館山まるごと博物館」をテーマとして、11 年ぶりに戦跡大会を開催することになりました。イベントとして、館山の戦跡で撮影された映画『赤い鯨と白い蛇』を上映します。全体会では、日韓の架け橋として活躍されている河正雄(ハ・ジョンウン)氏の基調講演、館山市・沖縄県南風原町・高知県香南市の事例を紹介するパネルディスカッション、特別分科会では重要な証言者のつどいをおこないます。また、分科会レポートの発表希望者は事務局までお申し出ください。

パルシステムより助成金 30 万円が決定しました！

市民による地域社会づくりの促進を目的とするパルシステム千葉より、「戦後 70 年」館山まるごと博物館のピースツーリズムまちづくりをテーマに 30 万円の助成金が採択されました。助成基金運営委員会より、「次世代に語り継ぐ平和活動に真摯に取り組んでいます。地域の多様な文化遺産の保存・史跡化を進めてきた実績に加え、本助成を活用して、より大きな地域活性化効果をめざし、行政や観光業者等との連携・協働をより密にして取り組まれることを期待します」と講評をいただきました。

イオンのイエローシートキャンペーン

毎月 11 日、イオン館山店で買物をする市民活動支援の黄色シートが出ます。NPO安房文化遺産フォーラムの BOX に投函されたレシート合計額の 1%として、14,200 円のギフトカードが寄贈されました。引き続きご支援をお願いいたします。

■ 安房歴史文化研究会 公開講座

◎ 5月30日(土)14:00～ 館山市コミュニティセンター 資料代 200 円

講師：愛沢伸雄 「小原金治の資料から館山の近現代史をみる」

近年、明治期に衆議院議員を務めた小原金治の生家より見つかった自叙伝草稿メモには、勝海舟自身が幕末に白浜燈台建設のため来房した旨が記されている。青木繁の滞在を世話した小谷喜録と姻戚関係にあった富崎村長の石井嘉衛門宅から、それを裏付ける書簡が見つかった。小谷家には朝鮮第 26 代国王高宗(ゴジョン)の甥・李峻鎔(イ・ジュニョン)の書も見つかっており、日本に亡命し政府の監視下で北条町(館山)に滞在していた李が刺客により暗殺未遂にあったことが、当時の新聞記事や外交文書からも判明している。

なお小原家には『大正九年三月安房郡在京者氏名録』とともに、東京で勉学する安房出身者を支援するために設立された「安房育英舎」に関する資料も見つかっている。氏名録はこの事業と関わるものではないかと推察される。また、北条町で人材育成に関わり、後に神戸市長や東京高等商業学校(現一橋大学)校長を歴任した坪野平太郎(号:南陽)や、講道館創設者の嘉納治五郎も関わったという「安房育英舎」事業を考察してみる。

■ 布良崎神社奉納画・調査報告会

◎ 6月9日(火)13:15～ 館山市立富崎小学校体育館(休校中)

講師：株式会社ディヴォート 修復室長 尾形純氏

寺崎武男は、青木繁の3年後に東京美術学校を卒業し、イタリア留学を経て日本の西洋画を牽引した画家である。関東大震災後に館山へ移住し、戦後は美術教育にも携わっている。精力的に房総開拓神話を描き、安房神社や下立松原神社とともに、布良崎神社には鳥居型額の奉納画が残されている。また、布良崎神社には「敬神」と彫られた立派な扁額もあり、「御額師舛川」と記され、「茂卿謹書」と彫られている。「茂卿」とは誰なのか分からないが、たとえば荻生徂徠も「茂卿」の字を使用している。修復技術の専門家を招き、調査および報告会を開催する。終了後の 14 時より、青木繁《海の幸》誕生の家と保存する会の総会をおこなう。

証言者のつどい (戦跡学習会)

① 6月28日(日) 15:30~ (A会員総会終了後)

館山地区公民館

1930年生まれ、戦時中に館山市船形在住。旧制安房中学に在学し、軍事施設作りに関わった勤労働員の日記を保持している。館山市那古地区の川崎空襲跡の惨状を目撃するなど、鮮明な記憶を証言する。父の西村迪雄(みちお)(陸軍少将・鎮海湾要塞司令官)は陸軍士官学校15期で、同じ船形に在住していた同期の多田駿(はやお)(陸軍大将・反東條派・1941年予備役)と親交があった。なお、赤門病院の芳名録に参謀総長梅津美治郎(よしじろう)の署名があり、終戦直前の7月23日に館山を訪れていることがわかった。その後、ミズーリ号の降伏文書に調印することになった梅津が、なぜ来館したのか謎である。彼もまた陸士15期の同期であった。

② 7月5日(日) 13:00~ (赤山ガイドサービス終了後)

館山地区公民館

1927年生まれで赤山の前で生まれ育った高橋博夫氏(元館山市教育長)は、館山海軍航空隊の建設と拡張工事に伴い自宅を2度転居させられている。赤山地下壕の建設は日米開戦前から始まっていたと証言。1944年7月旧制安房中学5年時に船橋の日本建鉄に勤労働員。1945年3月卒業、教員不足のため西岬村東尋常小学校の代用教員に勤務。降伏調印の翌日、外務省館山終戦連絡委員会の担当者とともに自宅から米占領軍の上陸を目撃。4日間の「直接軍政」のとき、自宅横に米軍の衛兵所と機関砲が置かれたことで、米兵との交流があったとのこと。戦後は、子どもたちに教科書の黒塗りを指導しただけでなく、小学校に直接米兵を連れていき、地理や英語の模擬授業をおこなったという貴重な体験をもつ。

青山学院水泳合宿所は、1926年に赤山の麓に開設され、生徒たちは夏の時期に柏崎の浜で水泳訓練をしていた。しかし赤山地下壕の建設に伴って1941年12月に海軍より譲渡の話が出され、すぐに閉鎖となった。青山学院高校の佐藤隆一教諭が、学校側の記録や写真から分かった調査を報告する。

③ 7月21日(火) 13:00~ (終了後にNPO運営委員会)

館山地区公民館

房総南端の布良(館山市)は幕末の一時期に砲台が置かれ、明治には海軍布良望楼(1894年)が建設された軍事的な要衝である。マグロ漁で栄えた漁村で海難事故が絶えなかったため、帝国水難救助会布良救難所(1903年)が開設され、救難所の看守長は村議の小谷喜録が務め、布良望楼とともに沿岸警備の役割を担っていた。日露戦争開戦となった1904年、画家の青木繁は友人3人と布良を訪れ、小谷宅に40日逗留し、重要文化財『海の幸』を描いている。隣接して館山海軍砲術学校(1941年)が開かれ、戦争末期には本土決戦体制として布良陣地が構築された。小谷喜録の長男・希六は徴用漁船「海幸丸」で就漁中に機雷にあたり亡くなっている。戦争と関わりの深かった漁村の状況について、1928年生まれの船大工・豊崎栄吉氏ら布良の人びとと語り合う。

◆ ツアーガイド&講演のスケジュール

6月3日(水) 11:00~15:30 八王子・川口憲法9条の会 20名=座学・赤山・掩体壕・米軍上陸地

6月4日(木) 10:00~12:00 講演:酒々井青樹堂「文化遺産を活かしたまちづくりイベントの手法」池田恵美子

6月6・7日(土/日) 15:10~17:10/8:00~15:00 中央学院大学 40名=座学・北下台・赤山・かにた村・四面石塔・布良

6月7日(日) 9:30~12:00 赤山地下壕跡ガイドサービス

6月8日(月) 9:30~15:30 木更津市岩根東地区民生委員児童委員協議会 15名=座学・赤山・かにた村

6月13日(土) 10:15~16:20 全国友の会 20名=座学・赤山・かにた村

6月18日(木) 10:40~12:10 講義:東京成徳大学「地政学的にみた房総半島南端」愛沢伸雄

6月20日(土) 10:30~15:00 木更津高校父兄会 OB15名=座学・赤山・かにた村

6月27日(土) 17:00~18:00 講演:館山ローターアクトクラブ 45周年式典「戦後70年から学ぶ戦争遺跡」愛沢・池田

7月2日(木) 12:30~16:00 神奈川私鉄労組青年婦人部 20名=座学・かにた村・掩体壕

7月4日(土) 10:30~15:00 木更津高校PTA(OB)7名=座学・赤山・かにた村

7月5日(日) 9:30~12:00 赤山地下壕ガイドサービス

スタッフ募集!

かにた婦人の村バザー

5月29・30日(金土)

8:30~14:00

販売・駐車場係など。

1日のみもOK。

安房西高校JRC部の ウガンダ支援バザー仕分け作業

5月31日(日) 13:00~

NPO会員・片方宅にて(那古)

旧安房南高校の平和学習から始まった交流は20年続いています。現地のアワミナミ洋裁学で子ども達は元気に学んでいます。カンパも受付中! バザーは6月28日(日)

ガイドスタッフ

ガイドの見習いやアシスタントの同行も大歓迎! スタッフの「あわがいど」ジャンパー(長袖:緑色/袖なし:黄緑)や名刺(100枚)はそれぞれ500円で頒布します。ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

池田恵美子 090-6479-3498